

中山道を活用した
地域おこし考える

近江八幡・武佐学区

近江八幡市武佐学区
住民対象のまちづくり
学習会が、同市の武佐
コミュニティセンター
であり、約五十人が参
加し、地域おこしを考
えたⅡ写真。

大阪国際大現代社会
学部（まほろば）の田中優准教授
（公共政策学）が「住民
主体の協働型まちづく
り」と題して講演。三
世代の住民同士の交流
が大事とした上で「学



区内を通る中山道を活
用しよう。見慣れた光
景では魅力に気づかな
いこともあり、学生た
ちの若い感性を大いに
活用して」と述べた。

田中准教授のゼミで
学ぶ三年生たち五人も
参加し、中山道を歩行

者天国にして地域住民
たちが露店などを出す
三世代交流行事の開催
を提案。学生たちは
「地元で販売されてい
る手焼きせんべいを使
い、空き家を活用した
茶会も開きたい」と訴
えた。

（桑野隆）